

れいわ ねんど しらかわ も じがく かんじきょうしつ
令和4年度「白川文字学こども漢字教室」

ふくい かんじ たんけんたい イン おおの
福井漢字探検隊 in 大野

令和4年7月17日(日)

りつめいかんだいがくしらかわしずか き ねんとうよう も じぶん か けんきゅうしょ
立命館大学白川 静 記念東洋文字文化研究所

久保裕之 くぼひろゆき

久保裕之 くぼひろゆき

酒

「酒」は、(酒壺)の形。(液体[水のようなもの])だから「灬」がついている。

こうこつぶん きんぶん てんぶん れいしよ かいしよ
甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

灣 𪚩 𪚪 酒 酒 酒

「酒」とつながる漢字…ヒントを読んで、何の字かを考えよう

①酒をほかの人についている様子。配

②できあがった酒を神さまにお供えしている様子。尊

②酒を入れる木でできた器。②がわかれば、漢字のつながりでわかる。

たる
樽

「酒」と「乳」との関係

牛を飼って、乳をしぼって牛乳やチーズ・バターなどを作る農業の形を酪農という。牛の他に(山羊)を飼うこともある。

「酪」の字にも「酉」がついている。なぜだろうか。乳を熟成させてチーズやバター作ることが、穀物を熟成させて酒を造ることと似ている。

福

「示(示)」+「畐」で、できている。「示」は、(神さまへおいのり)するときに、お供え物そな ものを置く台お だいの形かたち。「畐」は、酒さけを入れた腹い はらのふくれたつぼ(壺)の形。

神さまへお供え物かみをして、(しあわせ)を願ねがうこと。

こう こつ ぶん
甲骨文

きん ぶん
金文

てん ぶん
篆文

れい しょ
隸書

かい しょ
楷書

福 福 福 福

「示」とつながる漢字…ヒントを読んで、何の字かを考えよう

①まないたの上うえにお供え物をのせて、ご先祖せんぞさまをおがんだことからできた漢字。 祖

②神さまのいらっしゃる場所ばしょのまわりにたくさん木きを植うえて、勝手かってにそこに入はいったり、鳥とりや動物どうぶつをとったりしてはいけなしめいと示したこと。 禁

「畐」とつながる漢字…ヒントを読んで、何の字かを考えよう

①(壺)を刀かたなで二つに切ふたって、予備き(サブ)として置よいたもの。 副

③家の中に(宝物たからものを入れた壺)がたくさんある様子。 富

井

(井戸)を上から見た形。木のわくの形。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

井 井 井 井 井

やものつくいどもけい
焼き物で作った井戸の模型

とうだい
唐代(1000年ころ)

ちゅうごくらくようはくぶつかん
中国・洛陽博物館

「井」の字のひみつ

ぶしゅ
「井」の部首は(二)

同じ部首の漢字には「(二)・五・互・亜」がある。

「井」の字は、中国ではほとんど使わない。日本では(どんぶり)のこと。

なぜだろう。井戸(井)の中に石(い)を入れると水に落ちてドンブリと音

がすることから、という考え方があ



釉陶井
唐代
2009年洛陽工業陶瓷有限公司
洛陽博物館
Glazed pottery well
Tang Dynasty
Excavated from Luoyang Industrial Park in 2009
Collection of Luoyang Museum

川・水

「川」と「水」は、水が(流れる)様子からできた。「川」の流れの速さは岸
辺の近くが真ん中よりも(おそい)。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

川 川

水 水

「川・水」とつながる漢字・・・ヒントを読んで、何の字かを考えよう

①川の中にある小島。甲骨文は「𣎵」。

州

②水が冷えてかたまっもの。金文は「𣎵」。

氷

④大水と大火事。人々を不幸にするできごと。

災

⑤むずかしい川の中に落ちた人を両手で救い上げている様子。

泰

米・稻

「米」は(イネの^み実・^ほ穂)の形。日本では^{いね}稲の^み実である^{つか}コメだけに使われるが、^{ちゅうごく}中国ではすべての^{こくもつ}穀物の^い実の^み意味で使われる。

「稻」は(^{うす}白)の中に^て手を入れている形。すりつぶして^{こめこ}米粉を作ろうとしているのかもしれない。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

「米」とつながる漢字…ヒントを読んで、何の字かを考えよう

①米などの穀物の実を^{ちい}くだいて小さくなったもの。

粉

②穀物をひしゃくではかること。金文は「^{きんぶん}𥝱」。

料

③穀物から^{いし}石や^とごみなどを^{のぞ}取り除いてきれいにすること。

精

④^{いし}むずかしい穀物からできた^{あまい}あまいもの。訓読みはあまり使われないが「あめ」。

糖

曾・甑

「曾」は(蒸し器)である甑こしきの形。上にある「ソ」は(湯気ゆげの形)。「曾」は甑のイメージから(積み重なる)意味を表す。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

𠄎 𠄎 𠄎 曾 曾

「曾」とつながる漢字…ヒントを読んで、何の字かを考えよう

① 屋根やねが重かさなっていること。 層

② 土つちをどんどん重もねて盛もっていくこと。 増

② 宝物たからものをプレゼントしあうこと。 贈

斗・升

「斗・升」は柄えのついた(ます)の形。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

𠄎 𠄎 𠄎 斗 斗

升 升 斗 升

灯油缶は18l、瓶は1.8lや540mlなど中途半端な単位が多いのはなぜ。

昔の日本では、「石・斗・升・合」などという単位が使われていた。18lは1

斗、1.8lは1升で540mlは3合にあたる。この量が長く習慣になっている

ので、世界で使われるメートル法というはかり方で表したものの。

桶

「甬」は(おけ・バケツ)の形。そのイメージから(ストンと通っている)意味を表す。「用」もこれの仲間と考えられている。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

甬 甬 甬 甬

用 用 用 用 用

「用・甬」とつながる漢字・・・ヒントを読んで、何の字かを考えよう

- ①道がつかぬかかっていること。 通
- ②ズキッと体につきぬけるもの。 痛
- ② むずかしい 今の漢字の形とは少し違う。「ちから」に関する。 勇

黒・墨

「黒」は家の中のたき火とけむりをにがす天窓が(すす)で黒くなっている様子、いぶして袋の中に(炭)をとる様子と考えられている。そこに土を入れてこねて墨を作ったと考えられている。

「黒・墨」の中にある「灬」は(火)のこと。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

					
					

染・彩

「染」は、もとの形は「𣎵 + 染」。「染」は木の枝葉を水につけて染料をと

りだすこと。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

染 染 染

「彩」は。「采+彡」。「采」は「爪+木」で、手で木の^み実を(とる)様子。「彡」は(いろあざ鮮やかな)様子を表す。草木^{くさきぞ}染めで、きれいな^{いろ}色が出ている様子。

甲骨文 金文 篆文 隸書 楷書

采 采 采 采 采
采 采 采 采 采

「彩」とつながる漢字…ヒントを読んで、何の字かを考えよう

①手で木の^は実や葉をとること。

採

②とって^た食べられる^{くさ}草

菜